令和５年（2023年）１０月２日　葉山中通信　第６号

＜学校教育目標＞
自ら学び、心豊かで
たくましく生きる
生徒の育成

時を守り、場を清め、礼を正す

９月は、「はやまフェスタ」で楽しみながらも、人権について考える機会を持てました。人権については、いろいろな学び方があります。8月30日には、葉山中学校教職員でセクシャリティ教育について学びました。講師には、栗東市児童生徒支援室の脇野千恵先生に来ていただきました。その中で、「性」は「人権」に強く結びついていることを教えていただきました。また、国際的なセクシャリティ教育は、体の変化や生殖に関することだけでなく、人間関係、価値観、文化、安全、健康などを含めての教育であるということも学びました。人権や人生を考えるには、セクシャリティについての正しい認識も必要だということです。脇野先生は、毎年本校に来て各学年でお話しいただいています。学年で時期は異なりますが、「人権」という意味でもセクシャリティ教育を学びましょう。

生命の尊重と人権
～アンコンシャスバイアス～

私たちは、日々を過ごす中でさまざまな「思い込み」をしてしまいがちです。例えば、「パティシエ（菓子職人）」をイメージしてみましょう。性別は？年齢は？どんな人？ぱっと思いついたイメージとして女性で若くて優しそうな人だったりしていなかったでしょうか。実際には、人それぞれのはずなのに、**何となくイメージを作り、自分のイメージと異なっていたら勝手にがっかりする**という話はめずらしくありません。このような「思い込み」つまり「バイアス」と人権について、紹介します。

～アンコンシャスバイアスを解消するために～

「アンコンシャスバイアス　(unconscious bias)」という言葉は最近よく見かけるようになってきています。**無意識の偏見・思い込みという意味**の言葉です。先ほどの例にあったように、職業で性別をイメージしてしまうなどが代表的です。もちろん、どんな職業でも均等に分かれている訳ではなく、比較的多い・少ないということになりますが、そもそも一人ひとりを捉えることが先です。「アンコンシャスバイアス」はそれ自体が問題というわけではありませんが、バイアスによって自分の判断などに影響を受けることがあります。例えば、台風での大きな被害を受けたことのない人が、気象警報が出ていても「自分には大した被害はないだろう」と考えて対策を行わず、結果的に被害を受けたような場合です。この例のように「これまで、自分は大丈夫だったから、今回も大丈夫だろう」と考えるものを「正常性バイアス」といい、危機管理のうえで注意すべきものとされています。思い込むことが悪いというよりも、**思い込みによって判断をまちがえてしまう**のです。でも、**バイアスにとらわれず、「念のために対策をしておこう」と考えれば、被害をなくす、減らすことができます。**

つまり、「アンコンシャスバイアス」があることを知っていて、「自分のバイアス」以外の見方や考え方ができれば、広い視野で適切な判断ができるのです。無意識に頭に浮かぶ「自分のイメージ」だけでなく、「別のイメージもあっていい」と次のステップに移ることができれば、判断を誤ったり、思い込みで人を傷つけたりすることを防げるのではないでしょうか。

１０月の予定

完全下校時刻　１９日(金)まで17:30
　　２３日(月)から17:00

10／2（月）	中間テスト
３（火）	中間テスト
４（水）	教育相談（１２日まで）
５（木）	ＧＴＥＣ（２年）６日まで
１２（木）	進路検討会（3年給食まで） 交歓スポーツ大会
１７（火）	体育フェスタ（予備日19日）
２０（金）	中体連秋季総体
２３（月）	3年三者懇談（27日まで）
２４（火）	３年ほっとタイム講演
２５（水）	2年職場体験（27日まで）２年ほっとタイム講演
３０（月）	一斉委員会
３１（火）	3年実力テスト

部活動停止日　1(日)～3（火）、11(水)、18（水）
25（水）～27（金）

欠席フォーム
引き続き、ご協力を
お願いします。↓

スクールカウンセラー来校日　4 日（水）18 日（水）24 日（火）
相談をご希望される方は、事前に担任や担当までご連絡ください。

葉山フェスタ（9／20）

　葉山フェスタは、毎年生徒会が中心となって開催される行事です。いじめ根絶に向けて、生徒による取り組みが行われます。今年は、「ハッピーはや中宣言」という取り組みを行うことによって、互いに認め合うことの大切さに気付いたり、いじめに対する意識を高めました。

　はやまフェスタ当日では、人権学習の発表や人権講演ライブが行われました。今年は、「JERRY BEANS」さんに来校いただき、演奏や講演をしていただきました。